

令和8年7月31日

小金井市長  
白井 亨 様

小金井市芸術文化振興計画推進委員会  
委員長 田中 真実

「第2次小金井市芸術文化振興計画」の推進について（提言）

小金井市芸術文化振興条例第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり提言いたします。

記

- 1 第2次小金井市芸術文化振興計画（前期）の進捗状況  
別紙1のとおり
- 2 第2次小金井市芸術文化振興計画（後期）に向けて  
別紙2のとおり

別紙1 第2次小金井市芸術文化振興計画の進捗状況

基本理念：みんなで誰もが芸術文化を楽しめるまち 期間：2021年4月～2026年3月

|                | やってきたこと                                  | 3つの大事な視点 |    |      | 基本施策               |                    |                       | 挑戦したこと                                                           | 芸文推進委員会の視点から見た課題                                                                  | 芸文推進委員会の視点から見た今後の展開                      |
|----------------|------------------------------------------|----------|----|------|--------------------|--------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
|                |                                          | 協働       | 教育 | 社会包摂 | 1.芸術文化の拠点と交流の機会を提供 | 2.市民が参加する新たな機会をつくる | 3.多くの人々が参加できる実践の場をつくる |                                                                  |                                                                                   |                                          |
| アート・シフト・プロジェクト | はけの森美術館との協働事業（ダンス保育園）                    | ○        |    |      |                    | ○                  | ○                     | ・幅広い年齢層、参加が難しい層に対してアプローチすることができた。<br>・市民の自発的な活動を促すことができた。        | ・事業の知名度が低い<br>・参加者が少ない<br>・学校との連携<br>・同じ人ばかり参加している。<br>・主催側の人員が少ない<br>・費用面        | ・広報<br>・実行委員を広く募集<br>・限られた予算の中で取捨選択している。 |
|                | 高齢世代のための映像制作事業（えいちゃんくらぶ）                 |          |    | ○    | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 多様な視点に気づき、表現につなげるワークショップ（タズネル）           | ○        | ○  |      | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 0.1歳児と保護者のための芸術文化体験                      |          |    | ○    |                    | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | ユニバーサルアートフェス（交流センターと共催）                  | ○        | ○  | ○    | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
| 市              | 市内文化団体、事業への補助事業（市民文化祭、薪能等）               | ○        | ○  |      | ○                  | ○                  | ○                     | ・計画の周知、普及啓発ができた。<br>・幅広い年齢層、外国の方にも参加してもらうことができた。                 | ・支援体制（団体支援）の在り方                                                                   |                                          |
|                | 芸術文化振興計画推進フォーラム開催                        | ○        | ○  |      | ○                  | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 日本（江戸）文化体験事業                             |          | ○  | ○    |                    | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 連携協定を活用した事業（シヴィルマリッジinはけの森美術館（テクノスカレッジ）） |          | ○  |      |                    | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
| 美術館<br>はけの森    | 所蔵品展、企画展の開催                              |          | ○  |      | ○                  | ○                  |                       | ・前例がない展示等新しい試みを行った。<br>・市内小学校との連携を行った。<br>・他の機関、市内の文化資源との連携ができた。 | ・来館者が少ない<br>・知名度が低い<br>・教育、社会包摂<br>・地域とのつながり<br>・体制が脆弱                            | ・広報<br>・体制強化                             |
|                | ワークショップ                                  | ○        | ○  |      |                    | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | ギャラリーコンサート（交流センターと協働）                    | ○        |    |      | ○                  | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 鑑賞教室（市内小学校向け）                            | ○        | ○  |      | ○                  | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 市内団体等との連携（ワークショップ講師依頼等）                  | ○        | ○  |      |                    | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
| 市民交流センター       | ギャラリーコンサート（はけの森美術館と協働）                   | ○        |    |      | ○                  | ○                  |                       | ・他の機関、市内の文化資源との連携ができた。<br>・新しい分野の活動に挑戦した。<br>・担い手の育成に注力した。       | ・まだ市民交流センターに来たことのない人が市民交流センターに来るきっかけを増やす。<br>・市民と一緒に作る企画を充実させる。<br>・多様なジャンルの芸術を提供 |                                          |
|                | 自主事業（公演、ワークショップ等）                        | ○        | ○  | ○    | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | インリーチ、アウトリーチ事業（市内の保育園、学校、介護施設等）          |          | ○  | ○    | ○                  | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 館学連携事業（テクノスカレッジ、学芸大学）                    | ○        | ○  | ○    | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 市内団体等との共催、共同主催事業（木工チャレンジ、キッズカーニバル等）      | ○        | ○  | ○    | ○                  | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 市内アーティストとの連携（こがねいガラ・コンサート等）              | ○        |    |      |                    | ○                  | ○                     |                                                                  |                                                                                   |                                          |
|                | 担い手育成（こがねいジュニア特派員、こがねいガラ・コンサートインターン等）    |          | ○  |      |                    | ○                  |                       |                                                                  |                                                                                   |                                          |

## 別紙 2

### 第2次小金井市芸術文化振興計画（後期）に向けて

第2次小金井市芸術文化振興計画（以下「計画」という。）で掲げる「みんなで誰もが芸術文化を楽しめるまちへ」という基本理念を基に、前期では3つの基本施策（事業）を主に取り組むこととしていたことから、前期（令和3年度～令和7年度）に実施主体（NPO法人アートフル・アクション、公立文化施設及び小金井市）が行った事業について、進捗状況をまとめ、評価を行ったところである（別紙1）。

前期の活動の評価と現状を踏まえ、後期（令和8年度～令和12年度）の計画推進に向けて以下のとおり提言する。

#### 1 小金井市内の芸術文化活動の場の確保

計画に記載されているとおり、小金井市では、市民による自発的な芸術文化活動が多いことから、市民一人ひとりが担い手となり、芸術文化の基盤を作っていくという目標は一定程度達成していると思われる。

一方で、市民による自発的な芸術文化活動が多いが故に、市内で活動できる場所が限られている。芸術文化活動をさらに推進するためには、公立文化施設の活用を基本としながら、地域の様々な資源を活用・工夫し、活動の場（鑑賞・創造・発表等を行うことのできる機会）を増やしていく必要がある。

#### 2 市民の自発的な芸術文化活動の状況に係る情報収集

市民による自発的な芸術文化活動の直近の状況については、前期で調査ができなかったため十分に把握できていない。それぞれの活動を支えていくことが、計画に掲げる基本理念と理想像を実現させ、小金井市の芸術文化を豊かに醸成していくものとする。そのためには、まず現状把握が必要であることから、市内の芸術文化活動及び市民団体等の活動に係る情報収集が必要である。

#### 3 つなぎ手、中間支援機能の重要性

公立文化施設や実施主体が行う活動によって、市民が芸術文化に参加する機会の提供や共催等により活動を支えていること等は基本施策（事業）として取り組んできた成果だと考える。前期の取組を継続するとともに、後期の取組としては、芸術文化活動の基盤を支えられる体制づくりを重点的に行うことを提案する。「芸術文化活動の基盤を支えられる体制」には、市民交流を促進する人材である、つなぎ手（コーディネーター）や中間支援機能を持つ団体の

存在が重要である。市民交流を促進することで、相互作用が生まれ、活動の幅が広がることが期待できる。また、情報発信を強化することで、新たな市民参加を促すことができ、いずれも小金井市の芸術文化の土壌を豊かにしていくことができる。鍵となる人材及び団体を見つけていくためにも、前項で言及した情報収集が非常に重要となる。また、現状、合致する人材や団体がいない場合には、人材育成も視野に入れ、取り組んでいくべきと考える。

#### 4 多主体で担う中間支援機能

推進委員会の役割について、計画では、「小金井市の芸術文化振興に関する協議を行うほか、連携、情報交換、調整、相談、評価を行い、小金井市の芸術文化振興を発展させるための調査・提言を行います。」と定めている。中間支援として必要な機能であるとも考えられるため、推進委員会だけで担うのではなく、実施主体を含めた様々な団体・機関との役割分担も必要であると考え。

小金井市の芸術文化施策振興のために、各主体が自主性を持ちながら、どのような立場でどのような機能を担うべきかについて、改めて検討する必要があると考える。